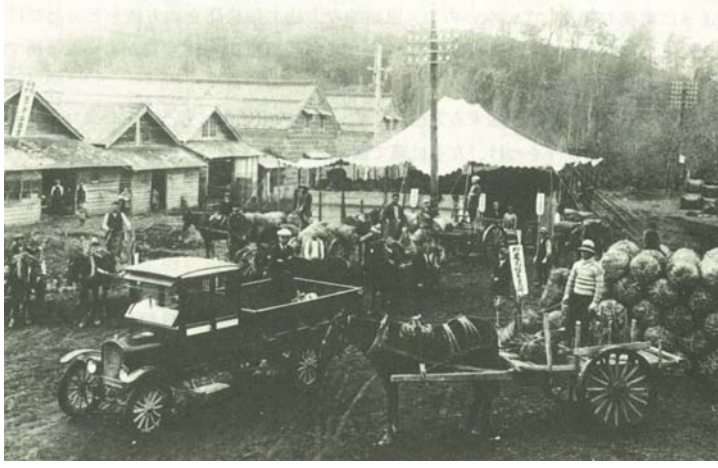




## 報告事項 1 資料

### ○中央倉庫群の概況

#### ①過去の様子（町提供写真）

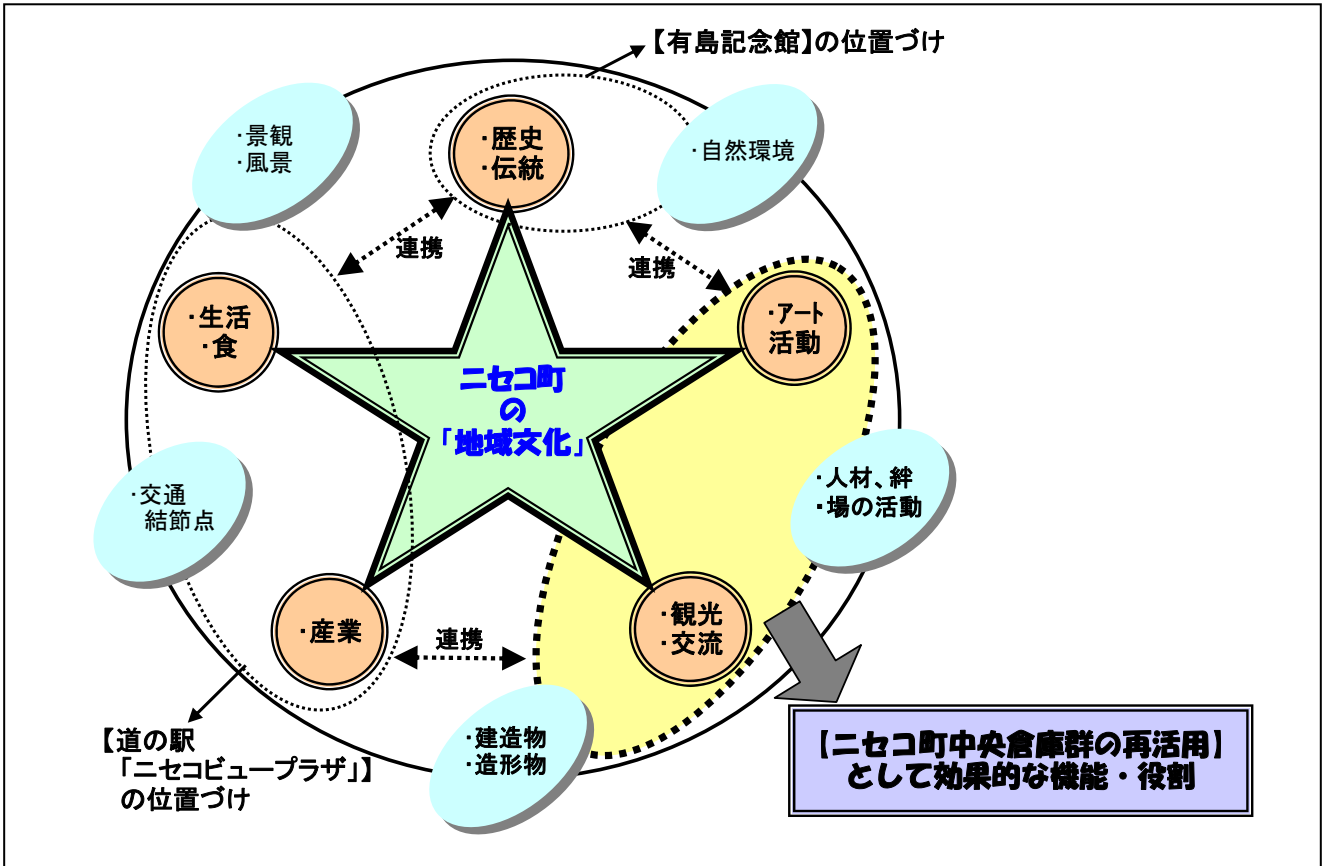
昭和 初期	<p style="text-align: center;"><b>【馬鈴薯の受け入れ風景と中央倉庫群】</b></p> 	<p>この写真は、昭和初期の馬鈴薯の受け入れ風景です。</p> <p>場所は狩太駅前（現在のJRニセコ駅）。馬鈴薯は開拓当時から作られ、澱粉の生産と共に早くから町の基幹作物として生産されました。</p> <p>昭和初期には、主に神谷薯、金時、えぞ錦などの品種が主で、男爵薯、メークインなどが作られはじめた時期でした。</p>
昭和 40 年頃	<p style="text-align: center;"><b>【高台から見下ろした中央倉庫群】</b></p> 	<p>この写真は、昭和30年頃のニセコアンヌプリと中央地区を撮影したもので、現在の芙蓉橋とニセコ駅前を中心とした中央倉庫群が多く建ち並んでいるのが見られます。</p> <p>また、高い煙筒のある大きな建物は、昭和31年に建設された雪印乳業の工場で、町内の酪農家から乳牛を集荷し、バターなどを生産していたそうです。現在は、JAようていの倉庫になっています。</p>
昭和 40 年頃	<p style="text-align: center;"><b>【羊蹄山をバックにする中央倉庫群】</b></p> 	<p>この写真は、昭和40年頃の羊蹄山を撮影したもので、手前に王子アパートと、尻別川を挟んで中央倉庫群が多く建ち並んでいる様子が分かります。</p>

②建物概要

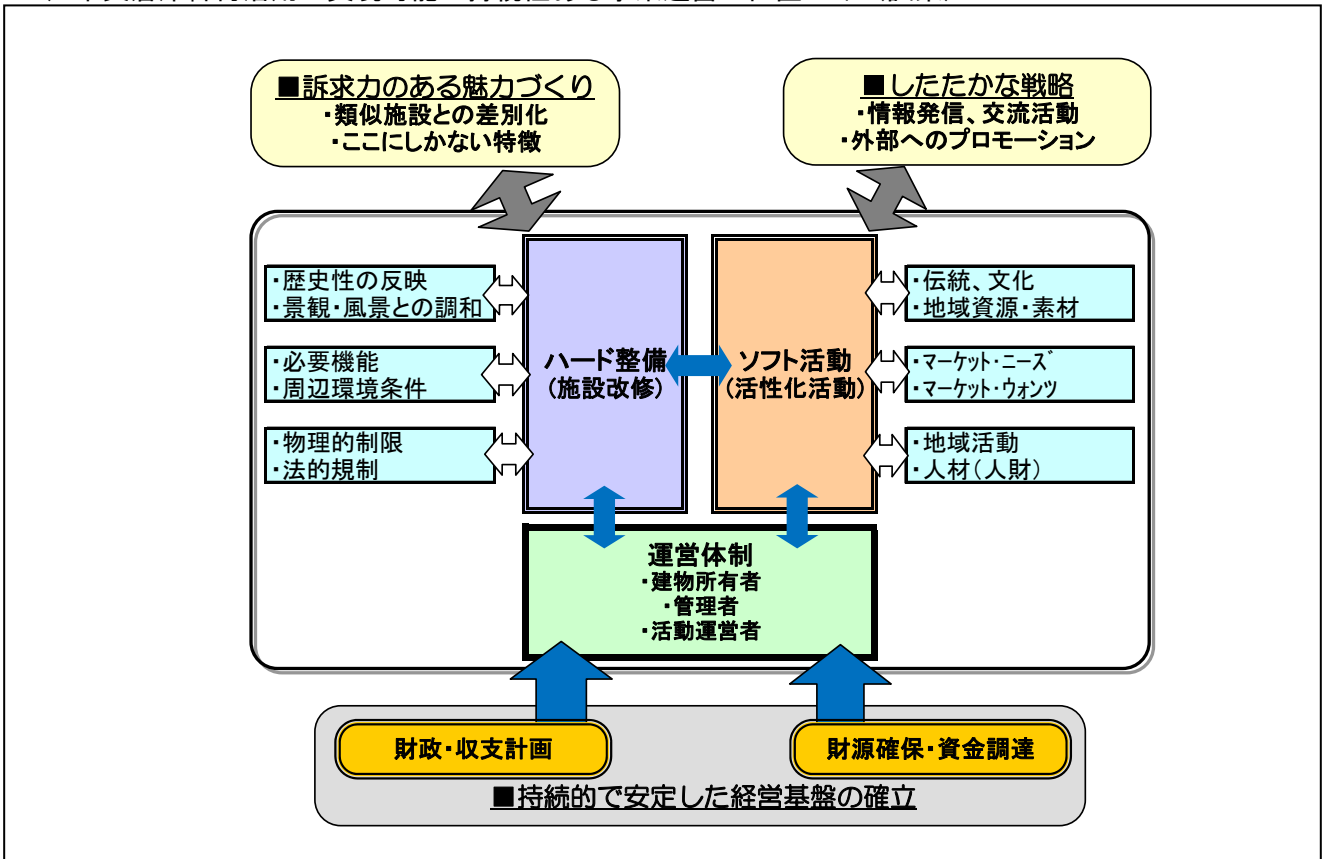
	施設名	建築年	構造・延床面積	備考	外観写真
1	肥料新倉庫	昭和 57 年	木造(外壁亜鉛鋼板) 平屋 延床面積:499.6 m <sup>2</sup>	・新耐震設計基準を満たす建物。	
2	1号倉庫	昭和6年 (大正 15 年?)	木骨石張 平屋 延床面積:326.7 m <sup>2</sup>	・木造の構造材に、石材の外壁。 ・長い年月を経た歴史的建造物として特徴ある景観を持つ。	
3	2号倉庫	昭和6年	木骨石張 平屋 延床面積:326.7 m <sup>2</sup>	・木造の構造材に、石材の外壁。 ・長い年月を経た歴史的建造物として特徴ある景観を持つ。	
4	7号倉庫	昭和 36 年	コンクリートブロック造 平屋 延床面積:364 m <sup>2</sup>	・コンクリートブロック造で、外部のバットレス(控壁)が特徴。 ・旧澱粉工場と連続した建物形状となっている。	
5	旧澱粉工場	昭和 43 年	木造 2階建て 延床面積:298.1 m <sup>2</sup>	・構造材・外壁ともに木造の建物。 ・外壁・軒裏など建物全体の傷みが進行している。	
6	12号倉庫	昭和 44 年	鉄骨造 平屋 延床面積:671.9 m <sup>2</sup>	・外壁鉄板の傷み(折れ、剥がれ)が進行している。	
7	13号倉庫	昭和 45 年	木造 平屋 延床面積:518.4 m <sup>2</sup>	・外部の鉄骨バットレス(控壁)が特徴。バットレスに錆が目立つ。 ・入口の底部分の劣化が進行している。	

③ プロポーザルについて

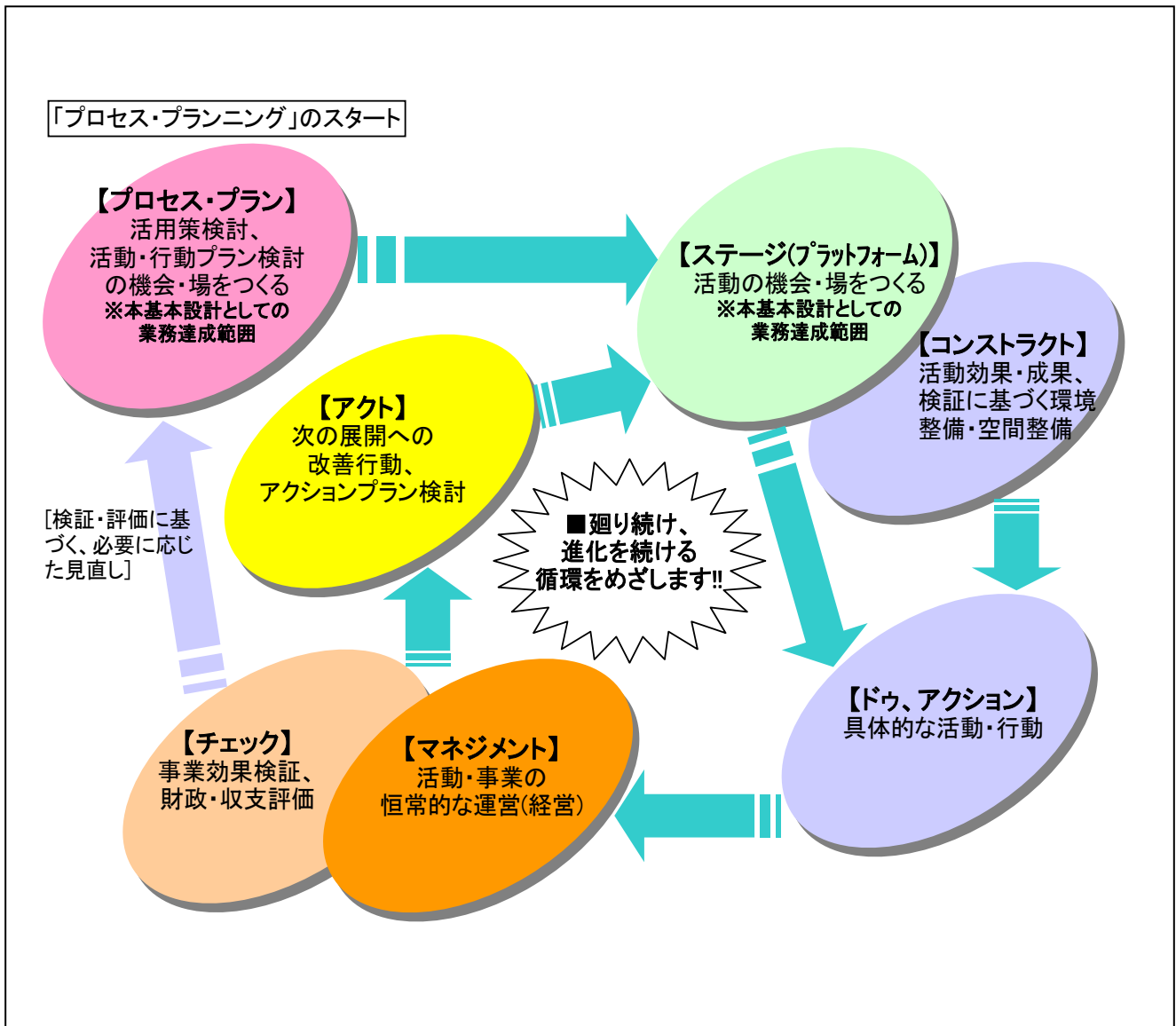
1) ニセコ町全体のまちづくりの中での役割分担と機能連携 (試案)



2) 中央倉庫群再活用の実現可能で持続性ある事業運営の位置づけ (試案)



3) 「プロセス・プランニング」による活動・検証・整備の循環フロー図（試案）



#### ④検討委員会の役割

- ニセコ町の「まちの玄関」ともいふべきJRニセコ駅前（ニセコ町中央地区）には、かつて、羊蹄山麓地域の農産物を鉄道で輸送するための集積場として、大正15年ごろを最盛期に、石造倉庫や木造澱粉工場などが建ち並んでいました。

現存する倉庫群は、現在、JAようていが所有しており、一部は政府指定の米倉庫となっています。米や豆などの保管用倉庫として利用されていますが、農協倉庫としては手狭であることから、別敷地への移転が予定されています。これにより、空き施設となった場合、ニセコ駅前という立地の良さと、石造倉庫など歴史的建造物でもあることから、既存構造物及び当該敷地の再生・活用が望まれています。

- そこで、本町では、かつて農産物の集積地として活躍した中央倉庫群を、観光客や地域住民等の集う、まちに夢と活気と賑わいをもたらす地域コミュニティ活性化の拠点として再活用するための基本設計を行うこととなりました。

- 基本設計を検討するに当たり、住民参加の手法として、町内関係団体、公募参加町民、学識経験者及びニセコ町関係課等から構成する検討委員会を通して、各種意見聴取と活用案提言等を求めることとします。

- 検討委員会は、次に掲げる事項について検討します。

- ・中央倉庫群の再活用策に関すること。
- ・中央倉庫群の再活用を通して実現する活動・事業等に関すること。
- ・中央倉庫群の再活用における運営計画・運営体制に関すること。
- ・上記に掲げるもののほか、中央倉庫群再活用基本設計の検討に必要な事項に関すること。